

主日礼拝式プログラム 8:45~10:15am

賛美

「おお御神をほめまつれ」

「私たちは一つ」

「人生の海の嵐」

「あなたに」

献金

牧会祈禱

主の祈り

宣教支援献金

聖書朗読 ヨハネの福音書14章1節～6節 森宗孝

メッセージ 「年度聖句シリーズ2 主イエスと歩く道」
関真土牧師

賛美 「主イエスと歩く道」

頌栄 祝禱

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって
一つとされ共に主を礼拝いたしましょう



お知らせ

- 中野明子先生の召天に際し、中野雄一郎先生、ご家族のみなさまへ、心から主の慰めをお祈りいたします。
- 本日 6月18日1:30pm ホノルル・キリスト教会日本語部の年度総会が開催されます。
- 新しい年度、心をつにして、主を礼拝し、主に仕え、主を証していきましょう。
- 本日の礼拝では、宣教支援献金の時が持たれます。献金、祈りをもってサポートさせていただきましょう。
- 年度聖句シリーズ、次週はイザヤ書43章4節の御言葉です。
- 奉仕者募集
礼拝聖餐式の準備。
HCCデボーションブログの校正者。

風の吹くままに



▼中野明子先生が、6月11日夜、主の御許に召されました。明子先生は、中野雄一郎先生と共に、1981年～1996年までホノルル教会を牧会されました。その後は、フラ賛美のミニストリーを通して、中野先生と一緒に世界中を伝道して廻りました。フラ賛美の生徒は世界各地に3千人くらいいたと聞いています。

2006年10月、軽井沢でフラ賛美のワークショップをしている最中にストロークで倒れ、半身麻痺となり、自宅で療養生活をされてきました。3人の娘さん、1人の息子さんは、それぞれ教会で仕え、主の働きをされています。家族に囲まれ、平安の内に召されました。

▼今日は、年度総会が持たれますが、中野先生夫妻が赴任された時は、教会員は高齢者の方が多く、このままでは近い将来、日本語部は閉鎖されるだろうという状況でした。しかし中野先生夫妻による熱心な伝道によって、教会は息を吹き返し、人が大勢集まるようになりました。私たちは、その働きの実を受け継いでいるのです。

▼明子先生との思い出を持っている方もたくさんおられると思います。メモリアルサービスは、9月か、11月を予定しています。決まりしだいお知らせいたします。

中野雄一郎先生、ご家族の上に、主の慰めがあり、天国の希望がこれからの歩みを支えてくださいますように、心からお祈りいたします。

献金



関真土牧師

sekishiniji89@gmail.com

2023年度聖句

神の命令を守ること、それが、神を愛することです。
神の命令は重荷とはなりません。

Ⅰ ヨハネの手紙 5章3節

スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、
否定しない、批判しない。そのままを受け入れましょう。



分かち合いのポイント

- ① あなたは、天国への道を知っていると言えますか。イエスが、その道であるということを、どのように受け留めていますか。
- ② 真理とは、論理ではなく人格的存在です。イエスが真理なのです。このことをどのように受け留めていますか。
- ③ イエスこそ、いのちそのものです。このことをどのように受け留めていますか。

ヨハネの福音書 14章 1～6節

「あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。

わたしの父の家には住む所がたくさんあります。そうでなかったら、あなたがたのために場所を用意しに行く、と言ったでしょうか。

わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。

わたしがどこに行くのか、その道をあなたがたは知っています。」

トマスはイエスに言った。「主よ、どこへ行かれるのか、私たちには分かりません。どうしたら、その道を知ることができるでしょうか。」

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。

ホノルル キリスト教会

2207 OAHU AVENUE, HONOLULU, HI 96822

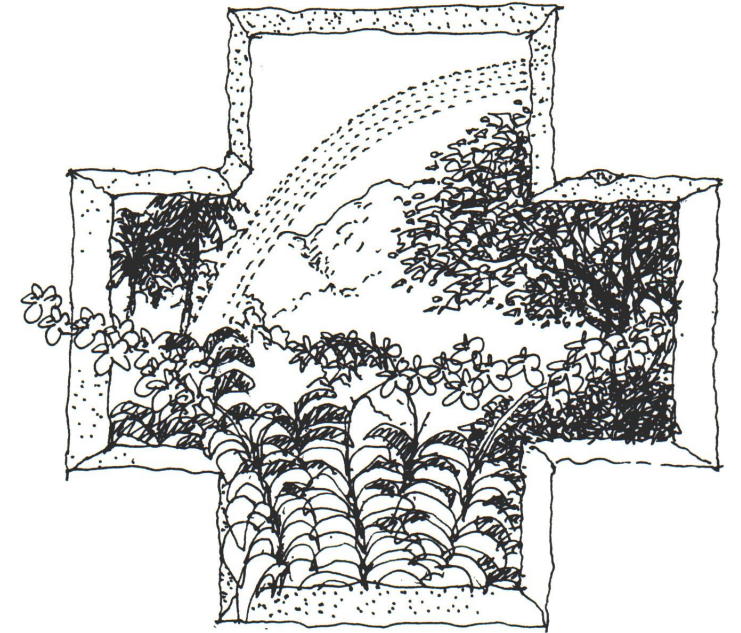
日本語部 事務所 ☎ (808) 973-4335

Email : office@honoluluchristian.church



ホノルルキリスト教会 2023年6月18日

週報



賛美の御言葉 詩篇117篇 1～2節

すべての国々よ 主をほめたたえよ。すべての国民よ 主をほめ歌え。主の恵みは、私たちに大きい。主のまことはとこしえまで。ハレルヤ。